

《担当者名》越後歩

【概要】

手外科領域のリハビリテーション（ハンドセラピー）の定義や理念を学修し、具体的評価と治療を学修する。

【学修目標】

【一般目標】

手外科領域のリハビリテーション（ハンドセラピー）に必要な解剖や疾患について学ぶ。またハンドセラピーの方法論や疾患別治療法について学修する。

【行動目標】

1. 手外科領域のリハビリテーションに必要な機能解剖を説明できる。
2. 手外科領域のリハビリテーションの評価について説明できる。
3. 手外科領域の疾患別リハビリテーション治療を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ハンドセラピーの概略・手の機能と解剖	ハンドセラピーの概略と手の機能と解剖について学ぶ。	越後歩
2	手の機能と解剖 ・炎症性疾患のハンドセラピー	手の機能と解剖、炎症性疾患のリハビリテーションについて学ぶ。	越後歩
3	ハンドセラピーの評価	手の疾患・傷病の評価やその管理方法について学ぶ。	越後歩
4	骨折のハンドセラピー	手関節・指骨折に対するリハビリテーションについて学ぶ。	越後歩
5	腱損傷のハンドセラピー	手指屈筋腱・伸筋腱のリハビリテーションについて学ぶ。	越後歩
6	末梢神経損傷のハンドセラピー	上肢の末梢神経損傷のリハビリテーションについて学ぶ。	越後歩
7	拘縮のハンドセラピー	手・指の拘縮のリハビリテーションについて学ぶ。	越後歩
8	ハンドセラピーのスプリント療法	ハンドセラピーに使用するスプリントについて学ぶ。	越後歩

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業内小テスト20%、定期試験80%

【参考書】

青木光広 編著 「からだの機能と運動療法 上肢・体幹」 メジカルビュー社 2013年  
 齋藤慶一郎 編著 「リハ実践テクニック ハンドセラピー」 メジカルビュー社 2022年  
 市橋則明 編著 「身体運動学」 メジカルビュー社 2017年  
 斎藤和夫 編著 「動画で学ぼうPT・OTのためのハンドセラピー」 医学書院 2022年

【備考】

上羽康夫 著 「手 その機能と解剖」 金芳堂 2014年  
 中田真由美 他 著 「ハンドセラピー入門」 三輪書店 2001年

【学修の準備】

毎回授業の最初に前回の授業内容に関する小テストを実施するので、予習復習しておくこと。（160分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

越後歩（作業療法士）

**【実務経験を活かした教育内容】**

病院の実務経験から、より実践的な装具の活用方法、仕組みを実物を通して講義、指導する。